

〈写真上段〉⑤顔料の胡粉(こふん)を利用した安全性が高いネイルケア(上羽絵惣、京都商工会議所の第1回「知恵ビジネスプランコンテスト」認定)⑥通称「知恵の輪」の産学共同研究拠点で3次元光造形機により試作したモデル⑦鹿苑寺(金閣寺)に展示されたイタリアのブランド「グッチ」の鞆製品



写真下段 ⑧村田製作所の一輪車型ロボット「ムラタセイコちゃん」⑨古代から伝わる結び方のマクラメの技法で開発した光ファイバー照明(フィルノート、第2回「知恵ビジネスプランコンテスト」認定)⑩京セラの人工オパール「京都オパール」を織り込んだ川島織物セルコンの本袋帯「古鏡華紋(こきょうかもん)」

知

恵

の

融

合

京都から挑戦

オール体制で
支援の輪築く

「京都が世界で輝き続けるのは、守るべきものは守りながら、常に新しいライフスタイルとビジネスモデルを創造する提案力があるからだ」(京都商工会議所の立石義雄会頭)。社会も、政治も、経済も混沌とし、先行きが見えなくなった今、京都の生き方が再生のヒントを与えてくれる。

京都は都だったはるか昔からさまざまなモノづくりが栄え、独自技術を育んできた。歴史と文化で培った豊富な知恵を融合し、進取の気風や創意工夫を受け継いできた。それは現在も、量産型の事業とは一線を画し、高い付加価値と品質を志向する有力企業が多い地域性が如実に示す。老舗の大手や中堅も、大学や研究機関も、時には独力で、時には手を結び、知恵で独創的なビジネスや研究を開いてきた。

人材やアイデアを受け入れる懐も深い。京セラの稲盛和夫名誉会長は27歳の創業時、「お金は1万5000円しかなく、仲間も貧しかった」という。それでも明確な事業計画と強烈な起業意欲を訴える稲盛氏に、京都の金融機関は無担保で融資し、セラミックス工場の建設を支えた。

行政と産業界は「オール京都」の支援体制を築き、知恵の結束も固い。京都商工会議所が手本とする米田コラド州リトルトン市は、人口6万人の小さな町だ。しかし、リトルトン市は行政と産業界の連携が一つになつて中長期戦略を練り上げ、起業精神の旺盛な中小企業をさまざまな支援策でもり立て、企業を誘致しなくても雇用と税収を増やした。経済がグローバル化しても、地域の活力こそが成長の原動力となる流れを、京都もリトルトンも明示している。

先行き見えない今、地域活力を成長の原動力に

SHIMADZU

キミたちの未来に、
科学技術でこたえていく。

かなえない夢はなんですか。

キミたちの歩く次の時代を、夢や希望の広がる未来に。

そして、その夢がかなない、そこからまた新しい夢が生まれつづける。

わたしたちはそんな未来を創りたいと考えています。

キミたちの未来に、科学技術でこたえていく島津製作所です。

<http://www.shimadzu.co.jp>

株式会社 島津製作所

分析計測機器 | 医用機器 | 航空機器 | 産業機器